

【別記】

CMS機能について

機 能	内 容
前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CMSは、市販パッケージ、オープンソースまたはオープンソースCMSをカスタマイズしたものを利用または独自に開発されたもの（オープンソースCMSをカスタマイズ）により構築するものとする。</li> <li>・ ソフトウェアに不具合があった場合は、速やかに修正すること。</li> <li>・ 機能を実現するため、必要に応じて追加プラグインやアプリケーションを利用しても可能だが、見積もりの範囲内とする。</li> </ul>
コンテンツ登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブサイトについての専門知識を持たない者でも、各ページのテキスト文修正やPDFのリンク貼付等の更新作業を行えること。</li> <li>・ 動画、静止画、音声データをウェブサイトに掲載できるようにすること。</li> <li>・ 画像登録の際、任意のサイズに拡大・縮小ができること。</li> <li>・ GoogleMaps などを用いて、施設などの所在地を表示できること。また、ページ内に情報を埋め込めること。</li> <li>・ 作成したコンテンツの公開イメージをプレビュー表示によって確認できるとともに、指定された用紙サイズで印刷できること。</li> <li>・ 作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。</li> <li>・ コンテンツの登録はパソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンでもできること。</li> <li>・ 表示ページの階層が判別できるように、いわゆる「パンくずリスト」を生成し、表示できること。</li> </ul>
コンテンツ管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開期間の指定ができ、指定した公開期間・時間に合わせて自動的にコンテンツの公開開始・終了ができること。（指定した時間から利用者が閲覧できる状態とすること。）</li> </ul>
コンテンツ公開承認フロー機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテンツ作成から公開までの承認ワークフローの設定が可能であること。（コンテンツ作成者と公開承認者とで権限を分けて設定できること。）</li> <li>・ CMSへのログイン時のID・パスワードは各所属に作成者用・承認者用を任意の数付与できること。</li> <li>・ CMSへのログイン時はID・パスワードの他になりすまし防止機能を追加すること。</li> </ul>
テンプレート確認機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務仕様書4（2）で示した各種ブラウザの最新版に対応し、デザインが崩れないこと。</li> <li>・ トップページ画像やバナー、バナー広告等の表示項目が変更できること。</li> </ul>
問い合わせ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問い合わせフォームを作成できる機能を持つこと。</li> <li>・ 問い合わせがあった場合、自動返信や公社宛にメールを展開できること。</li> </ul>

CMSの更新	<ul style="list-style-type: none"><li>・ CMSの動作環境は更新できること。 (クラウドのOS、CMS本体、プラグイン等)</li><li>・ 更新ができない場合は、対応方法を検討して報告すること。</li><li>・ セキュリティには考慮し、脆弱性への対策をすること。</li></ul>
--------	--